

平成 30 年度 ケアプランセンター 足原のぞみ苑

報 告 概況報告

1 利用者の状況等

- ア 今年度末の月平均利用者数は 85.5 人(受入上限 97 人)
- イ 今年度末における平均要介護度は 1.5 と軽く要支援～要介護 1 の利用者の割合が全体の 8 割に達している。

2 運営状況

- ア CM が 2、6 人から 3 人体制となった事で 1 月より特定事業所加算Ⅲを算定開始した。これにより要介護のプランが 1 件当たり 300 単位増加となった。利用人数については今年度 4 月 82 件で今年度末 3 月が 85 件と 3 件の増加と大きな変化は見られないが加算取得後より月平均 200、000 円の増収となった。
- イ センター稼働率については今年度平均 88%となっている。前年度の平均は 74%だった為、稼働率自体はアップとなっている。
- ウ 法人内事業所への紹介数率は月平均でデイ 31.4 件(75.4%)ショートステイ 8.7 件(99.1%)となっている。

3 事業報告

ア 地域活動

<計画>

地域活動の充実

(結果)

地域の防犯パトロールやまち美化清掃に継続して参加中。今年度は特に霧丘校区での活動を行ってきた。徐々に顔を覚えてきてもらえており参加者の方にも声をかけてもらえるようになってきている。

・昨年夏に起こった集中豪雨の際、市民センターで過ごす事が困難な方の受け入れを特養と共に行った。緊急時の要支援介護者の受け入れ施設であるとの事を市民センター等各機関にアピールする事が出来た。

イ 職員教育

<計画>

外部研修に各職員が参加。各種制度の動向把握に努める。

(結果)

研修計画を作成。各職員が外部研修に参加。介護保険制度の最新情報や医療的な情報等を取り入れセンター内で伝達する事で情報共有し相談支援業務に反映出来る様に取り組んできた。

総評

居宅介護支援事業について

- ・今年度中盤まで 2.6 人の人員体制で行ってきた。受け入れ件数上限に達してしまい新規依頼に対して対応出来ない状況となり他事業所ケアマネジャーへ紹介したケースも数例あった。
- ・今年 11 月より人員体制を 3 人に変更。受け入れ枠増えた為、営業行い新規ケースの依頼が増えてきてはいるが終了ケースも相次ぎ今期は 3 件のケース増加に留まった。